

「臨床婦人科産科」第 75 巻 総目次

2021 年（第 1 号～第 12 号）

数字は通巻頁数、（ ）は号数

今月の臨床

●生殖医療の基礎知識アップデート—患者説明に役立つ最新エビデンス・最新データ (1)

〈一般不妊治療：プレコンセプションケア〉

ライフスタイルと妊孕能

黒田 恵司…………… 6

サプリメント摂取と妊孕性—葉酸、ビタミン D の有用性

太田 邦明・福田 雄介・片桐由起子

高橋 俊文・森田 峰人……………14

〈一般不妊治療：不妊症に対する一般的な検査・治療〉

子宮卵管造影検査

茅原 誠・石黒 竜也・榎本 隆之……………24

卵巣予備能の検査

小林 未央・岩瀬 明……………32

甲状腺機能検査（潜在性甲状腺機能低下症）

田村 博史……………38

潜在性高プロラクチン血症

吉野 修・古江 明子・平岡 毅大……………43

クラミジア感染症の検査

野口 靖之……………49

性交および人工授精のタイミング

福原 理恵・横田 恵・横山 良仁……………53

〈一般不妊治療：特定の不妊原因に関する検査・治療〉

PCOS 不妊女性に対する排卵誘発とメトホルミン療法

宮崎有美子・白藤 文・玉村 千代

折坂 誠……………58

PCOS 診断時のアンドロゲン測定

馬場 剛……………64

視床下部・下垂体性排卵障害の診断と排卵誘発

金崎 春彦……………70

早発卵巣不全の治療

丸山 哲夫……………76

慢性子宮内膜炎の診断・治療

木村 文則……………87

子宮内膜ポリープに対する治療

白澤 弘光・熊澤由紀代・寺田 幸弘……………94

卵巣チョコレート嚢胞合併不妊の治療

谷口 文紀……………100

精索静脈瘤の診断・治療

平松 一平・辻村 晃……………106

〈生殖補助医療〉

ART 治療を受ける場合の児への影響

齊藤 和毅……………113

無精子症患者と染色体・遺伝子異常

宮本 敏伸・宇津野泰弘……………119

卵巣過剰刺激症候群の最近の予防方法

河野 康志・尾石 友子・檜原 久司……………124

PGT-A の現状

佐藤 剛……………134

ART における新しい検査法

松林 秀彦……………144

〈不育症の検査・治療〉

不育症に対する血液凝固系検査—プロテイン S 欠乏

症と第Ⅻ因子欠乏症について

藤田 太輔・大道 正英……………150

不育症患者に対するアスピリン療法

桑原 慶充……………159

不育症に対する免疫系検査の意義

福井 淳史・山谷 文乃・柴原 浩章……………165

●妊娠・分娩時の薬物治療—最新の使い方は？ 留意点は？ (2)

妊娠中・分娩後の抗凝固療法—ヘパリン製剤・ワルファリンをどう使うか

牧野真太郎……………194

抗甲状腺薬—治療目標・催奇形性をどのように考えればよいのか

坂井 淳彦・藤田 恭之・加藤 聖子……………199

抗てんかん薬—各薬剤の胎児へのリスクと投与法の基本について

加藤 昌明・鈴木 利人……………204

葉酸—どのように用いれば神経管閉鎖障害を予防できるのか

吉田 志朗……………212

低用量アスピリン—重症妊娠高血圧症候群の発症予防を目的とした用い方

徳中真由美・松岡 隆・関沢 明彦……………219

降圧薬—薬剤選択の優先順位と禁忌薬

関 博之	226
経口血糖降下薬—妊娠中にはどのように用いればよいのか	
成瀬 勝彦・上嶋 昌和	232
フェインジェクト®—静注鉄製剤の基本投与法と使いどころ	
藤井 知行	238
切迫早産の治療薬—塩酸リトドリンと硫酸マグネシウムの使い分けと併用時の注意点	
大口 昭英	245
子癇発作（痙攣発作）の治療薬—痙攣発作が出現したときにはどう対処するか	
大野 泰正	251
ジノプロストン腔内留置用製剤—使いどころと留意点	
永松 健	256
産科危機的出血への対応—トラネキサム酸，フィブリノゲン，ノボセブン	
兵藤 博信	262
抗悪性腫瘍薬—妊婦への投与が禁忌の医薬品と妊娠期ごとの副作用	
小島 真奈	268
●女性のライフステージごとのホルモン療法—この1冊ですべてを網羅する(3)	
女性のライフステージごとのホルモン療法の活用の仕方	
倉智 博久	302
〈月経異常・不妊〉	
思春期早発症・思春期遅発症	
生水真紀夫	310
不妊治療での内膜の調整周期	
山下 能毅・大道 正英	320
若年者の月経異常とPCOS	
高橋 俊文・鈴木 大輔・太田 邦明	326
機能性月経困難症	
河北 貴子・安井 敏之・岩佐 武	332
子宮内膜症	
森 泰輔	339
子宮腺筋症	
北原 慈和・岩瀬 明	346
子宮筋腫	
眞田 裕子・甲賀かをり	352
〈腫瘍〉	
各世代における子宮内膜増殖症—10代，生殖可能年齢，閉経周辺期，閉経後に分けて	
田中 良道	358
子宮体がん	
太田 剛	363
外科的閉経	

佐々木 浩	369
〈更年期・老年期〉	
更年期障害	
高橋 一広	376
骨粗鬆症	
寺内 公一	384

●産婦人科患者説明ガイド—納得・満足を引き出すために(4)

〈周産期〉	
□妊娠初期	
子宮内容除去術を行うにあたっての患者説明	
藤田 恭之	8
異所性妊娠手術を行うにあたっての患者説明	
霞澤 匠・高村 将司	12
異所性妊娠に対して薬物治療を行うにあたっての患者説明	
難波 聡	17
子宮頸管縫縮術を行うにあたっての患者説明	
山下 有加・大槻 克文	21
□出生前診断の検査と処置	
出生前検査・診断を行うにあたっての患者説明	
西山 深雪・長谷川冬雪	26
羊水検査を行うにあたっての患者説明	
齋藤 彩・高橋 聡太・室月 淳	32
絨毛検査を行うにあたっての患者説明	
三浦 生子・三浦 清徳	36
NIPTを行うにあたっての患者説明	
鈴森 伸宏	42
血清マーカー検査を行うにあたっての患者説明	
栗城 紘子・浜之上はるか	46
出生前遺伝子検査を行うにあたっての患者説明	
長谷川冬雪・西山 深雪	51
胎児超音波検査を行うにあたっての患者説明	
長崎 澄人・中田 雅彦	57
□妊娠中の産科処置	
切迫早産に対する薬物治療を行うにあたっての患者説明	
塩崎 有宏	63
RDS予防のためにリンデロン®を投与するにあたっての患者説明	
田中 幹二	68
羊水除去を行うにあたっての患者説明	
吉田 志朗	72
□分娩時の処置・手術	
羊水注入を行うにあたっての患者説明	
岩垣 重紀・高橋雄一郎	76
陣痛促進・分娩誘発を行うにあたっての患者説明	

牧野真太郎……………82	Q13 風疹、麻疹、水痘にかかったことがあるかと聞か
硬膜外麻酔無痛分娩を行うにあたっての患者説明	れましたが、自分でもよく覚えていません。どう
平井 歌織・岡田 尚子……………87	すればよいですか？
子宮底圧迫法（クリステレル胎児圧出法）を行うにあ	奥田 美加…………… 127
たつての患者説明	Q14 風疹にかかってしまい「赤ちゃんが先天奇形にな
牧野 康男・相澤 利奈・牧野 郁子……………91	るかもしれない」と言われました。どうすればよい
予定反復帝王切開術を行うにあたっての患者説明	ですか？
松岡 隆……………95	下屋浩一郎…………… 128
胎盤位置異常（前置胎盤・低置胎盤）における帝王切	Q15 避妊法にはたくさんの種類があると聞きますが、
開術を行うにあたっての患者説明	私に相応しい避妊法はどれですか？
最上 晴太・近藤 英治……………99	北村 邦夫…………… 129
緊急帝王切開術を行うにあたっての患者説明	Q16 妊娠中の齲齒、歯周病の治療はどうすればよいで
赤坂珠理晃・市川麻祐子・成瀬 勝彦…………… 105	すか？
分娩後に子宮動脈塞栓術を行うにあたっての患者説明	大野 泰正…………… 132
藤井 達也・永松 健…………… 109	Q17 育児休業中・子育てに関する経済的支援制度を教
Q1 会陰切開は必ずやらないといけないのですか？	えてください。
亀井 良政…………… 113	笠井 靖代…………… 133
Q2 どんなときに鉗子分娩・吸引分娩をするのですか？	〈不妊・不育〉
亀井 良政…………… 114	卵管疎通性検査を行うにあたっての患者説明
Q3 何歳から高齢出産になりますか？	中林 章…………… 136
安達 知子…………… 115	精液検査・男性不妊検査を行うにあたっての患者説明
Q4 性感染症は赤ちゃんにも感染しますか？	黒田晋之介・湯村 寧…………… 140
川名 敬…………… 116	不妊症に関連する女性側のホルモン検査を行うにあた
Q5 以前、性器ヘルペスにかかったことがあります。	つての患者説明
何か問題はありますか？	宇津野泰弘・宮本 敏伸…………… 145
森川 守…………… 117	卵巣予備能検査を行うにあたっての患者説明
Q6 つわりがひどくて食べても吐いてしまいます。赤	浅田 義正…………… 151
ちゃんへの影響はありますか？	人工授精を行うにあたっての患者説明
兵藤 博信…………… 118	近藤 哲郎・河野 春香…………… 155
Q7 子宮内膜症は胎児や胎盤に影響がありますか？	調節卵巣刺激・排卵誘発を行うにあたっての患者説明
平田 哲也…………… 119	北原 慈和…………… 159
Q8 子宮筋腫があると言われました。妊娠・出産に影	体外受精・胚移植を行うにあたっての患者説明
響がありますか？	高橋 俊文・太田 邦明…………… 163
中西沙由理・青木 茂…………… 120	顕微授精を行うにあたっての患者説明
Q9 遺伝性疾患をもっています。妊娠・出産に影響が	柳田 薫・柿沼 敏行…………… 169
ありますか？	受精卵凍結保存とホルモン調節周期での移植を行うに
山田 崇弘…………… 121	あつての患者説明
Q10 マタニティ・ブルーズ、産後うつ病とはなんでき	東口 篤司…………… 173
か？	がん・生殖医療における卵子・卵巣組織凍結保存を行
佐藤 昌司…………… 122	うにあつての患者説明
Q11 かぜのため近くの内科クリニックを受診したら薬	洞下 由記・鈴木 直…………… 178
を処方されました。これらの薬を飲んでも大丈夫	精液凍結保存を行うにあつての患者説明
でしょうか？	上條慎太郎・宇津野宏樹・浜谷 敏生…………… 183
小畠 真奈…………… 124	不育症に対するアスピリン・ヘパリン療法を行うにあ
Q12 妊娠中でもインフルエンザの予防接種をしたほう	たつての患者説明
がよいですか？もしインフルエンザに感染したら	竹下 俊行…………… 187
どうしたらよいですか？	Q1 不妊治療にはどんな副作用がありますか？
西郡 秀和…………… 125	高橋 俊文・太田 邦明…………… 193

Q2 一般不妊治療と生殖補助医療ではどちらの成功率が高いですか？ 長谷川祐子・岩瀬 明…………… 195	尾石 友子・河野 康志・橋原 久司…………… 216
Q3 なぜ最初から体外受精をしてもらえないのですか？ 辰巳 賢一…………… 196	Q1 乳房はいつから膨らむのが普通ですか？ 病院に行ったほうがよいのはどのような場合ですか？ 綾部 琢哉…………… 220
Q4 体外受精はしたくありません。ほかの治療法はありませんか？ 辰巳 賢一…………… 197	Q2 ととき月経痛があり不順になることもあります。病院に行ったほうがよいのはどのような場合ですか？ 谷口 文紀…………… 221
Q5 はっきりした原因がないのにどうして妊娠できないのですか？ 梶原 健…………… 198	Q3 月経前に憂うつになったり、おなかที่痛くなったたりするのはなぜですか？ 月経が始まると消えるのはなぜですか？ 江川 美保…………… 222
Q6 以前に人工妊娠中絶をしたことがあります。妊娠できますか？ 信田侑里・辻 俊一郎・村上 節…………… 200	Q4 おりものが気になります。ときどき、卵の白身みたいなおりものがでることがあります。普通の量、色はどんなものですか？ 齊藤 亜子・西井 修…………… 223
Q7 なぜクラミジア検査をするのですか？ 感染していたらどうすればよいのですか？ 佐藤 健二…………… 201	Q5 ダイエットしたら月経がなくなりました。大丈夫でしょうか？ 金崎 春彦…………… 224
Q8 フーナーテストとはどんな検査ですか？ 何がわかりますか？ 柴原 浩章・亀井 秀剛・福井 淳史…………… 202	Q6 ピルを飲んで3年ほど経ちますが、最近、休業期間に出血がありません。大丈夫でしょうか？ 安達 知子…………… 225
Q9 抗精子抗体とはなんですか？ これがあると妊娠できないのですか？ 柴原 浩章・表 摩耶・脇本 裕…………… 203	Q7 娘への接種を考えていますが、子宮頸がんを予防するワクチン（HPV ワクチン）は本当に安全ですか？ 宮城 悦子…………… 226
Q10 卵胞がみえているのにどうして卵子がとれないのですか？ 白澤 弘光・熊澤由紀代・寺田 幸弘…………… 204	Q8 性同一性障害とはなんですか？ 中塚 幹也…………… 227
Q11 妊娠しやすいような卵子をどうやって見分けるのですか？ 中岡 義晴…………… 206	〈中高年期・老年期〉
Q12 不妊治療の前に子宮粘膜下筋腫・子宮内膜ポリープは手術したほうがよいのですか？ 齊藤寿一郎…………… 207	OC・LEP を処方するにあたっての患者説明 篠原 康一…………… 230
Q13 多嚢胞性卵巣症候群と言われました。どんな病気ですか？ 岩佐 武・鎌田 周平…………… 209	ホルモン補充療法（HRT）を実施するにあたっての患者説明 寺内 公一…………… 238
Q14 良好胚を何度移植しても妊娠しません。どうすればよいのですか？ なにか検査はできないのですか？ 堤 治…………… 210	閉経後骨粗鬆症治療を行うにあたっての患者説明 佐々木 浩…………… 243
Q15 私の卵子を若返らせることはできないのですか？ 河村 和弘…………… 211	骨盤臓器脱治療についての患者説明—腹腔鏡下仙骨陰固定術・経腔メッシュ手術 可世木華子・明樂 重夫…………… 250
Q16 喫煙していると妊娠しにくいのですか？ 溝口 千春・河野 康志…………… 212	Q1 OC・LEP を服用しています。いつから HRT に切り替えたらよいのですか？ 篠原 康一…………… 255
Q17 着床前スクリーニングとはどのような検査ですか？ 検査をすれば確実に妊娠できるかわかりますか？ 宇津宮隆史…………… 213	Q2 乳がんでタモキシフェンを服用しています。婦人科疾患における注意事項はありますか？ 佐々木 浩…………… 257
〈思春期・若年期〉	〈婦人科疾患〉
思春期月経異常に対してホルモン療法を行うにあたっての患者説明	子宮筋腫に対して薬物治療を行うにあたっての患者説明

篠原 康一	260
子宮筋腫に対して外科治療を行うにあたっての患者説明	
浅田 弘法	266
子宮内膜症に対して薬物療法を行うにあたっての患者説明	
北脇 城	274
子宮内膜症に対して外科治療を行うにあたっての患者説明	
熊切 順	280
子宮腺筋症の治療を行うにあたっての患者説明	
廣田 泰	285
良性卵巣腫瘍（皮様嚢腫など）の治療を行うにあたっての患者説明	
小野 理貴・西 洋孝	292
Q1 子宮腔部びらんと言われました。どんな病気ですか？	
岩田 卓	297
Q2 尖圭コンジローマと言われました。どんな病気ですか？	
笹川 寿之	298
Q3 性感染症が疑われたらどのような検査・治療をするのですか？ 治療すれば必ず治りますか？	
野口 靖之	300
Q4 性感染症はパートナーも検査と治療が必要だと言われましたが、パートナーは症状がないと言って検査をしてくれません。どうしたらよいですか？	
藤原 道久	301
Q5 陰部にかゆみがあって病院に行くとカビだと診断され、薬で治りますが、またすぐにかゆくなります。どうしたらよいですか？	
吉村 和晃	302
〈悪性腫瘍〉	
リスク低減卵管切除術を行うにあたっての患者説明	
梶山 広明	306
子宮頸がんの妊孕性温存療法についての患者説明	
田中 良道	310
子宮体がんの妊孕性温存療法についての患者説明	
中村 文洋・松川 淳・太田 剛	314
卵巣悪性腫瘍の妊孕性温存療法についての患者説明	
佐藤 豊実	319
腹腔鏡下広汎子宮全摘術を行うにあたっての患者説明	
寺井 義人	323
子宮体がんの手術療法を行うにあたっての患者説明	
田中 智人	329
卵巣がんの術前抗がん剤治療を行うにあたっての患者説明	
藤原 聡枝	333

再発卵巣がんに対して二次的腫瘍減量手術（secondary debulking surgery : SDS）を行うにあたっての患者説明	
植田多恵子・吉野 潔	337
子宮体がんに対し傍大動脈リンパ節郭清を行うにあたっての患者説明	
山崎 博之・金野 陽輔・渡利 英道	341
抗がん剤治療を行うにあたっての患者説明	
境 秀樹・松本 光史	346
放射線治療を行うにあたっての患者説明	
戸板 孝文	350
がん遺伝子パネル検査を行うにあたっての患者説明	
坂井 美佳・竹原 和宏・平沢 晃	354
コンパニオン診断を行うにあたっての患者説明	
坂井 美佳・竹原 和宏・平沢 晃	362
分子標的治療を行うにあたっての患者説明	
原野 謙一	370
がん免疫療法（抗 PD-1 抗体ペムブロリズマブ）を行うにあたっての患者説明	
濱西 潤三	375
積極的ながん治療を中止するときの患者説明	
木原 歩美・恒藤 暁	382
Q1 抗がん剤治療後、しびれが出てきました。何か治療はないですか？	
境 秀樹・松本 光史	386
Q2 抗がん剤治療後、家に帰ったときから吐き気があってつらいです。	
境 秀樹・松本 光史	387
Q3 若年乳がんて抗がん剤治療を受けますが、卵巣機能を保護する方法はありますか？	
林 正美	388
Q4 広汎子宮全摘出後、排尿障害が続いています。いつまで続くのでしょうか？	
関山健太郎	389
Q5 がんの手術後、むくみがひどくてつらいです。	
関山健太郎	390

●頸管熟化と子宮収縮の徹底理解！—安全な分娩誘発・計画分娩のために (5)

〈子宮頸管熟化〉

ヒトにおける頸管熟化の基礎

杉村 基	402
薬物的頸管熟化の種類と使い方のコツ	
高倉 翔・池田 智明	408
器械的頸管熟化の種類と使い方のコツ	
桑原 慶充	414
計画分娩にあたっての頸管熟化の評価	
進藤 亮輔・青木 茂	420

〈分娩誘発と陣痛促進〉	
子宮収縮の基礎	
松家まどか・伊東 宏晃……………	425
オキシトシン・PGF _{2α} の使い方とコツ	
石川 浩史……………	430
分娩誘発に関する各国ガイドラインの比較	
板倉 敦夫……………	435
誘発・促進の判断と効果の見極め方	
中井 章人……………	442
〈分娩誘発の合併症〉	
分娩誘発の母体・胎児に対する短期・長期リスク	
鈴木 俊治……………	449
過強陣痛の評価法と対処法	
牧野真太郎……………	456
誘発分娩時の産後出血とその予防	
成瀬 智……………	460
〈分娩誘発の応用〉	
無痛分娩の際の分娩誘発	
山下 隆博……………	470
●大規模災害時の周産期医療—災害に負けない準備と対応 (6)	
〈災害医療の基本〉	
周産期医療と災害	
石川 広己……………	502
災害時の基本的医療—TTT (Triage, Treatment, Transport)	
石川 秀樹……………	510
災害医療派遣チーム (DMAT) と広域災害救急医療情報システム (EMIS)	
小井土雄一……………	517
災害医療教育研修—MIMMS, NDLS, MCLS	
八木 雅幸・大友 康裕……………	525
〈激甚災害の経験から得られた周産期医療体制の問題点と現状〉	
データからみる 2011 年東日本大震災と周産期医療	
菅原 準一……………	532
2016 年熊本地震	
津田 尚武……………	541
2019 年秋の台風およびそれに関連した豪雨災害への対応	
鈴木 真……………	548
令和 2 年 7 月豪雨—人吉球磨地域の産婦人科医療への影響	
瀬戸 雄飛・下川 理沙・大場 隆……………	555
〈大規模災害時の周産期医療体制構築への試み〉	
災害時小児周産期リエゾン設立までの経緯	
松本 陽子……………	562

日本産科婦人科学会の取り組み—大規模災害対策情報システム (PEACE) について	
永瀬 智……………	567
〈感染症パンデミックへの対応—新型コロナウイルス感染症を踏まえて〉	
母体と医療従事者への感染を防ぐには	
出口 雅士・山田 秀人……………	573
新生児の水平感染を防ぐには	
細野 茂春……………	579
〈災害時の医療機関のインフラ確保—Triage Green の健康維持のために〉	
災害を想定した防災リテラシー—水の確保と医療施設の自立体制	
古谷 健一……………	585
電源の確保	
出口 宝・田名 毅・佐々木秀章……………	594
●専攻医必携! 術中・術後トラブル対処法—予期せぬ合併症で慌てないために (7)	
周術期管理の意義と最近の動向	
砂田 真澄・堀江 昭史・万代 昌紀……………	614
〈産科編〉	
帝王切開術	
増山 寿・早田 桂……………	620
器械分娩	
藤田 太輔・大道 正英……………	627
頸管縫縮術	
大槻 克文……………	635
子宮内容除去術	
五十川智司・石井 桂介……………	642
〈生殖編〉	
採卵	
片桐由起子・福田 雄介……………	648
〈婦人科編〉	
子宮筋腫核出術—LM・LAM・TCR・AM	
恒遠 啓示・大道 正英……………	654
子宮内膜症手術—腹腔鏡下嚢胞摘出術・癒着剝離術など	
熊切 順……………	660
子宮全摘出術—良性、TLH・開腹を含めて	
林 茂徳・青木 大輔……………	666
広汎子宮全摘出術—骨盤リンパ節郭清術を含む	
関山健太郎……………	675
婦人科悪性腫瘍における傍大動脈リンパ節郭清術—腹腔鏡下・開腹	
寺井 義人……………	681
ロボット支援下手術	
横山 良仁……………	688

腹腔鏡下仙骨陰固定術 (LSC)・経陰メッシュ手術 (TVM) のトラブル対処法	
市川 雅男・可世木華子・白石 達典	
坂田 明子・白井 有香・中尾 仁彦	
明樂 重夫	695

●エキスパートに聞く 耐性菌と院内感染—産婦人科医に必要な基礎知識 (8)

〈耐性菌総論〉

薬剤耐性の歴史的変遷と現状

松永 展明	714
-------	-----

検出菌と原因菌—感染症治療の考え方

榮山 新・老沼 研一・金子 幸弘	721
------------------	-----

〈耐性菌各論—診断法と制御・治療戦略〉

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)

小林 康祐	729
-------	-----

バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)

富田 治芳・久留島 潤・橋本 佑輔	734
-------------------	-----

多剤耐性緑膿菌・アシネトバクター (MDRP/MDRA)

山室 亮介	744
-------	-----

基質拡張型 β ラクタマーゼ (ESBL) 産生菌

松川 雅則	752
-------	-----

カルバペネム耐性腸内細菌 (CRE)

幸福 知己	759
-------	-----

〈産婦人科診療時に耐性菌が検出された際の対応〉

【周産期】妊婦 GBS スクリーニングと耐性菌

野口 靖之	766
-------	-----

【新生児】NICU・新生児室での耐性菌対策

八木 哲也	770
-------	-----

【婦人科】骨盤内炎症性疾患・細菌性陰症

宮崎 博章	777
-------	-----

〈院内感染抑制対策〉

感染制御を目的とした院内システム構築—アウトブレイクにどう対応するか

宇野 俊介・長谷川直樹	783
-------------	-----

環境消毒の考え方と実際

浅井さとみ・梅澤 和夫・橋本 昌宜	
宮地 勇人	792

●産科手術を極める (I) —妊娠中の処置・手術 (9)

子宮内容除去術

手向 麻衣・味村 和哉・木村 正	814
------------------	-----

妊娠中の子宮頸部円錐切除術

仲村 勝・青木 大輔	822
------------	-----

異所性妊娠に対する手術①—卵管膨大部・卵管峡部妊娠に対する手術

梁 善光	827
------	-----

異所性妊娠に対する手術②—卵管間質部妊娠

渡辺 正・黒澤 大樹・渡部 洋	834
-----------------	-----

異所性妊娠に対する手術③—子宮頸管妊娠・帝王切開癒痕部妊娠への対応

鷹野夏子・亀井 良政	843
------------	-----

異所性妊娠に対する手術④—卵巣妊娠

木崎雄一郎・高井 泰	850
------------	-----

子宮頸管縫縮術の適応—予防的頸管縫縮術・治療的頸管縫縮術・緊急頸管縫縮術の適応と効果

大槻 克文	856
-------	-----

子宮頸管縫縮術の手術手技

谷垣 伸治・石川 美佳・平野 稚子	866
-------------------	-----

絨毛採取

和田 誠司・室本 仁・杉林 里佳	
------------------	--

小澤 克典・左合 治彦	873
-------------	-----

羊水穿刺

鈴森 伸宏	878
-------	-----

胎児輸血の適応と手法

小澤 克典・和田 誠司・左合 治彦	883
-------------------	-----

羊水過多症に対する羊水除去術

山本 亮・石井 桂介	890
------------	-----

骨盤位に対する外回転術

小川 浩平・東 裕福・左合 治彦	896
------------------	-----

●産科手術を極める (II) —分娩時・産褥期の処置・手術 (10)

帝王切開分娩の標準的手技

宮内 彰人	922
-------	-----

帝王切開分娩時のコツ①—早産児帝王切開分娩 (幸輔児分娩)

小野 義久・江良 澄子	928
-------------	-----

帝王切開分娩時のコツ②—骨盤位帝王切開分娩

山下 隆博	935
-------	-----

肩甲難産への対応

池ノ上 学	940
-------	-----

クリステル胎児娩出術 (子宮底圧迫法)

兵藤 博信	946
-------	-----

吸引遂娩術

下屋浩一郎	952
-------	-----

前方後頭位に対する鉗子遂娩術

亀井 良政	956
-------	-----

回旋異常に対する鉗子遂娩術—前方前頭位・低在横定位に対して

亀井 良政	964
-------	-----

会陰切開縫合術

鈴木 俊治	972
-------	-----

第4度会陰裂傷に対する処置

利光正岳・永松 健	979
-----------	-----

バルーンタンポナーデ法

牧野真太郎……………	984
子宮内反症に対する修復術	
田丸 俊輔……………	989
子宮収縮不全に対する外科的処置—子宮全摘術を含めて	
松崎 慎哉……………	995
●月経異常に対するホルモン療法を極める！—最新エビデンスと処方の実例 (11)	
ホルモン療法を行うにあたって知っておくべき月経異常の分類	
寺内 公一……………	1022
〈無月経〉	
ホルムストローム療法	
高橋 俊文・太田 邦明・神保 正利……………	1028
カウフマン療法	
安井 敏之・河北 貴子・吉田加奈子	
岩佐 武……………	1033
〈月経困難症・過多月経〉	
□LEP 製剤	
OC・LEP 製剤の黄体ホルモンによる違い	
山口 明子・高橋 俊文・小宮ひろみ……………	1038
LEP 製剤の周期投与と連続投与の違い	
高松 潔・小川真里子……………	1044
□黄体ホルモン製剤	
経口黄体ホルモン製剤の使い方—ジェノゲストを中心に	
篠原 康一……………	1053
子宮内システムの使い方	
太田 郁子……………	1060
SPRM の展望	
松岡 正造……………	1068
□GnRH アナログ	
GnRH アゴニストの使い方	
小芝 明美……………	1074
GnRH アンタゴニストの使い方	
中村 寛江・平池 修……………	1081
〈実際編：こんなときどうする？〉	
OC・LEP の服薬コンプライアンスに困る例にどう対応するか—マイナートラブルへの対応	
佐々木 浩……………	1087
40 歳以上の月経困難症・過多月経・無月経に対するホルモン療法	
岡野 浩哉……………	1093
アスリートの月経困難症・過多月経・無月経に対するホルモン療法	
能瀬さやか……………	1104

●プレコンセプションケアにどう取り組むか—いつ、誰に、何を？ (12)	
〈総論〉	
産婦人科医が知っておくべきプレコンセプションケアの知識—フェミニネーションのススメ	
倉澤健太郎……………	1122
体格からみたプレコンセプションケアと DOHaD (仮説)	
福岡 秀興……………	1129
〈プレコンセプションケアとしての母子感染予防〉	
クラミジア・淋菌・梅毒・HIV	
野口 靖之・嶋津 光真……………	1136
サイトメガロウイルス・トキソプラズマ	
永松 健……………	1141
風疹・麻疹・水痘・流行性耳下腺炎	
野口 靖之・坂井 啓造……………	1146
〈妊娠前の準備〉	
生活習慣が母体・胎児に及ぼす影響—葉酸やビタミン D などのサプリメント・タバコ・アルコール	
朝倉 寛之・西尾 京子……………	1150
生活習慣が生殖機能に及ぼす影響—栄養の視点から	
原田美由紀……………	1156
プレコンセプションケアからみた HPV ワクチンと子宮頸がん検診	
川名 敬……………	1161
不妊外来で行うプレコンセプションケアの実例—どんな検査・指導が有用か	
佐藤 雄一……………	1168
〈プレコンセプションケアの実例：基礎疾患のある患者への家族計画・妊娠前指導〉	
精神・神経疾患—てんかん、統合失調症、不安症	
清野 仁美・松永 寿人……………	1178
糖尿病	
柳沢 慶香……………	1183
高血圧	
三戸 麻子……………	1190
甲状腺疾患	
荒田 尚子……………	1195
自己免疫疾患	
宮川 英子・村島 温子……………	1200
炎症性腸疾患	
渡辺知佳子……………	1206

原著

ロボット支援下広汎子宮全摘術が執刀医に与えるストレス・疲労の検討—開腹手術・腹腔鏡手術との比較	
馬淵 誠士・志村宏太郎・松本 有里	

梅本 雅彦・北田 文則・木村 正 藤江 建朗・中村 英夫……………	281 (2)
当院における腹腔鏡下子宮体癌手術の導入と治療成績	
後藤 美希・鈴木 蓉子・竹入洋太郎 大村 美穂・神野 雄一・竹内 真 永井美和子・江口 聡子・中林 稔 東梅 久子・横尾 郁子・有本 貴英 ……………	289 (2)

臨床経験

当院における若年妊婦の動向 高橋ゆう子・武知 公博……………	177 (1)
-----------------------------------	---------

症例

ベバシズマブを含む多剤併用化学療法が奏効した進行 子宮頸部神経内分泌癌の1例 齋藤 有沙・小宮山慎一・長島 克 谷口 智子・片倉 雅文・早田英二郎 定本 聡太・森田 峰人……………	797 (8)
レトロゾール併用ショート法で妊娠し得た難治性不妊 4症例 副田 善勝・副田 翔……………	903 (9)
閉経後に不正性器出血と子宮腺筋症の増大を認めた 14 mm 大のエストロゲン産生ステロイド細胞腫 瘍の1例 小川 美咲・木村 博昭・中嶋 太郎 廣瀬 雅紀・安部真希子・太田 正志 徳山 宣・野口 寛子・前田 大地 平敷好一郎……………	1003 (10)

FOCUS

切迫早産の診断と薬物治療のタイミング—子宮収縮抑	
--------------------------	--

制薬, 抗菌薬, 黄体ホルモン 米田 哲……………	476 (5)
------------------------------	---------

Obstetric News (武久 徹)

骨粗鬆症 (Ⅲ) 診断②骨粗鬆症性骨折部位—どの部位 で骨密度を測定するか?……………	174 (1)
骨粗鬆症 (Ⅲ) 診断③治療すべき患者の選択—国際内 分泌学会, 米国内科医師会……………	278 (2)
骨粗鬆症 (Ⅳ) —予防……………	391 (3)
新型コロナウイルス感染症ワクチン接種: 妊婦と母乳 哺育女性 (Ⅰ) —重要な情報と推奨の要約 (米国 産婦人科学会)……………	480 (5)
新型コロナウイルス感染症ワクチン接種: 妊婦と母乳 哺育女性 (Ⅱ) —開発中のワクチン (米国産婦人 科学会)……………	483 (5)
新型コロナウイルス感染症ワクチン接種: 妊婦と母乳 哺育女性 (Ⅲ) —推奨 (米国産婦人科学会) ……………	600 (6)
新型コロナウイルス感染症ワクチン接種: 妊婦と母乳 哺育女性 (Ⅳ) —ワクチンの信頼度……………	702 (7)
Nextstellis —新しい経口避妊薬 (FDA 承認) ……………	804 (8)
なぜ40歳を超えた女性は避妊について別個のガイ ダンスが必要なのか?……………	912 (9)
40歳以上の女性が直面している主な性的・生殖健康 問題は何か? (Ⅰ)……………	1010 (10)
40歳以上の女性が直面している主な性的・生殖健康 問題は何か? (Ⅱ)……………	1112 (11)